

**CROWN
BIO SCIENCE**
Together with **MBL**

MuPrime™

腫瘍同種移植

臨床的に関連する発癌性変異を持つ免疫応答性モデル



A JSR Life Sciences Company

クイックファクト

V1.0

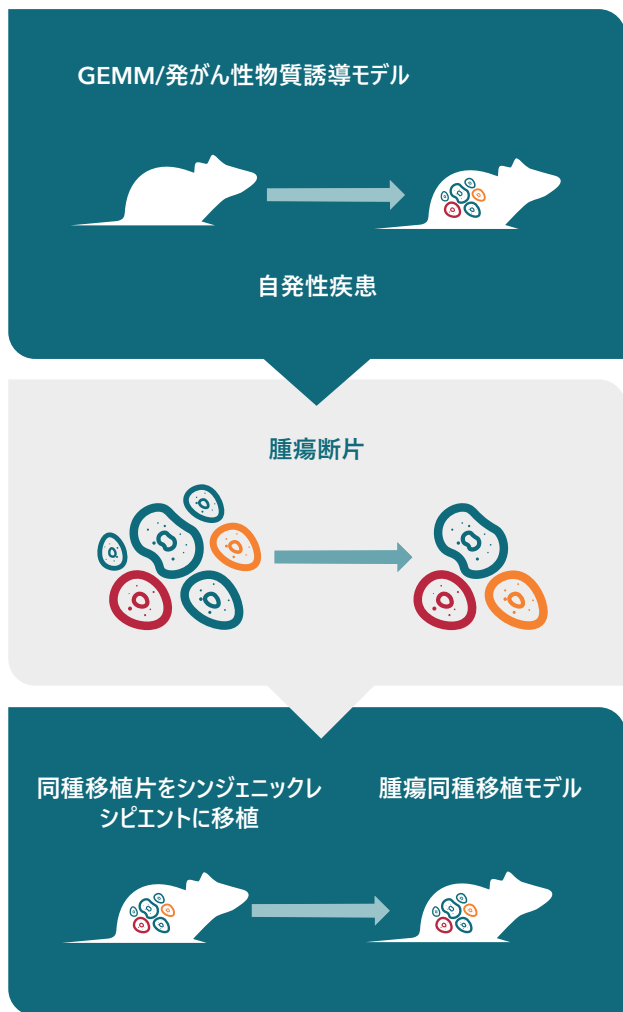
MuPrimeモデルは、免疫担当同系宿主に移植された自発性または発がん物質誘発性GEMM腫瘍の同種移植です。GEMMから開発された腫瘍同種移植は、前臨床I/O研究のために同系モデルの数と分子病理学を増幅します

MuPrime腫瘍同種移植は*in vitro*または*ex vivo*で継代されることはありません。その為、元の腫瘍の組織病理学、分子病理学、および主要な発癌性ドライバー変異が保存されます。

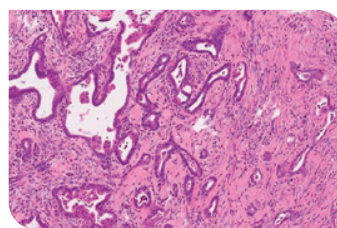
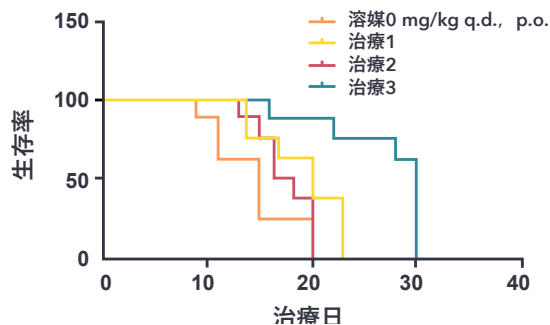
MuPrimeプラットフォームの特徴：

- ヒトのがんに関連する疾患特異的変異を持つユニークなモデル
- *in vivo*薬理学研究に必要な操作の簡易性と組み合わせたGEMMの予測力

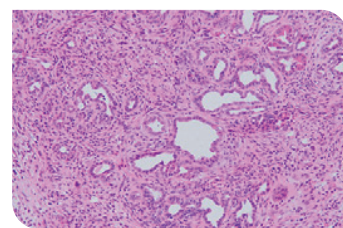
- 完全に機能するマウス免疫システム
- 十分に特性が明らかにされているモデル：当社のオンラインデータベース(MuBase)を介して、組織病理学・免疫チェックポイントおよびSoCベンチマーク・免疫プロファイリングデータを閲覧可能
- 大規模スクリーニングを可能にする拡張性



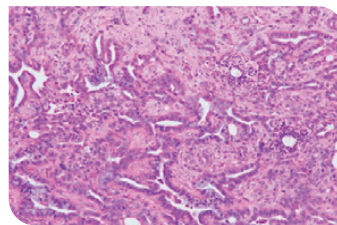
新型膵管腺癌(PDAC)療法の評価のためのKras(G12D) / 腫瘍同種移植片モデル



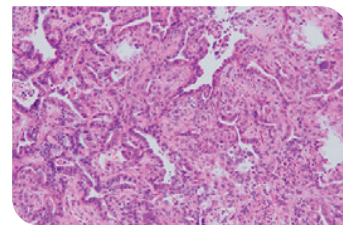
患者PDAC



KPCGEMMからのマウスPDAC



皮下同種移植腫瘍



同所性同種移植片腫瘍

